

2014・2015年度教研テーマ

共に祈り 共に生きよう

キリスト教学校教育

<http://www.k-doumei.or.jp/> E-mail info@k-doumei.or.jp

3

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教学校教育館2号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長人 佐藤村 浩一
会員料 200円(会員料は別途)
(毎月1回15日発行)

2015年度教科中央委員会

16・17年度教研テーマを策定

現代の日本では、良民を育成が叫ばれている。これは本来「地球的視点」立った人間の育成」という意味ではないかと考えられる。多くの学生を留学させ、世界を体験させることが必要なことがあるが、重要な点で、狭い日本の国益だけを考る人間ではなく、文字通り、地球的視点に立って様々な人々の恩恵を享受される人間となるかどうかである。

柄木眞の那須アシアリズムというキリスト教系の学校やアフリカの地域のリーダーたちを無償招待し、彼らに農業を学ぶなども、

育成が叫ばれている。こ

れは「強い日本人の育成」という

経済界の要請が大きいと思

われる。多くの学生を留学させ、世界を体験させるこ

とは必要なことがあるが、

重要な点で、狭い日本の国

益だけを考る人間ではな

く、世界を体験させるこ

とは必要なことがあるが、

重要な点で、狭い日本の国

加盟校アンケート集計

「キリスト教学校教育」紙について

昨年9月に行われた全国広報委員会において、各地区から「キリスト教学校教育」紙の各学校での読み方、取り扱わ方などについて報告がなされました。この報告は、毎年この全国広報委員会でされているもので、「キリスト教学校教育」紙がどのような目的で編集・発行されているかという基本姿勢の確認をするとともに、より多くの教職員の方々に読んでいただきにはどうしたらよいかという読者拡大の方策を探る大切な機会でもあります。

そもそも一般社団法人キリスト教学校教育同盟の機関紙である「キリスト教学校教育」は、その事業計画書にも記されてあるように、

1. 総会及び諸集会の記録保持のため
2. キリスト教教育の基本理念の明確化のため
3. 加盟校の相互理解及び連帯の強化のための二点がその編集・発行の目的であります。教育同盟における最大の相互情報交換の場であり、そのため役割は大きいと思われます。

しかし、各学校においてこの機関紙の扱われ方は実にさまざまであり、17,000部も毎回発行されている機関紙の一体何が、編集・発行者の求めめるような形で読者に提供されているのか、現況を把握し、編集者の自己点検と今後の工夫に資する取り組みが必要だという認識に至りました。

そこで今回のアンケートは、この機関紙「キリスト教学校教育」紙の今後の編集・発行の方向性を見直し、配布方法の可能性を探ることも含め、表題のようなアンケートとしました。各学校には「本紙の読み方、用いられる方、改善すべき点についてアンケート」という表現で依頼をして、各学校の部署の管理責任の立場にある方にお答えいただこうお願いをしました。

年始めのご多忙の時期にご協力いただきまして、深く感謝いたします。
(広報委員会)

回収状況

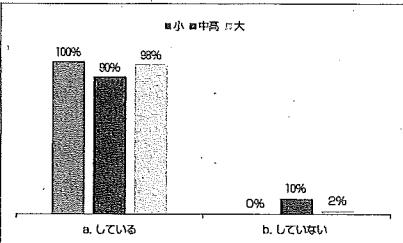
小学校：発送数 32、回答数 21、回答率 62.2%
中高校：発送数 108、回答数 55、回答率 50.9%
大学：発送数 70、回答数 51、回答率 72.9%
全体回答率 60.8%

回答者

小学校：校長・教頭（16）、宗教センター長（1）、事務長（1）、教務（1）、広報企画委員長（1）、学級担任（1）
中高校：理事長・校長・部長・副校長・教頭（25）、宗教教育担当【宗教主事・宗教主任・宗教部長・宗教部主任・宗教教育部長・宗教課長・聖書科主任・チャプレン・キリスト教活動主任・キリスト教センター長／主事／職員】（28）、教務部長（1）、教諭（1）、事務長（1）
大学：院長・学院長・学長・副学長（7）、宗教教育担当【宗教主事・宗教主任・チャプレン・キリスト教（宗教）センター長／主事／職員・宗務課長・宗教部長・チャプレン室職員】（19）、事務担当【事務局長・事務室主任・総務課長／主任／職員・総務グループ長・事務管理センター長・総務部秘書課・学務課主任／主事・総務財務課職員・事務職員】（25）

①「キリスト教学校教育」紙の配布、閲覧の状況をお聞きします。

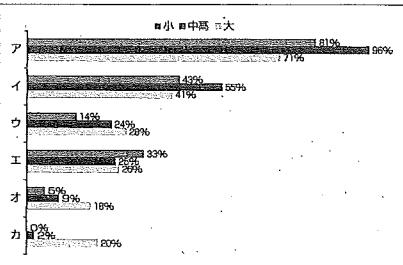
A. 配布



「a. している」とお答えの場合、

②配布対象をして当てはまるものは次のうちどれですか？

- ア 正規雇用の教職員
- イ 有期契約雇用の教職員
- ウ 病院の教職員
- エ パートタイム勤務の教職員
- オ 派遣労働勤務の教職員
- カ その他

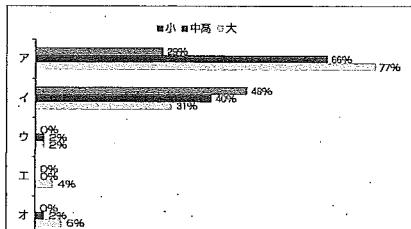


その他：（中高校）聖書科非常勤講師、（大学）各事務室、役職者、学長、学部長、キリスト教教育委員会、正

規雇用教員、常勤教員、学生、来賓

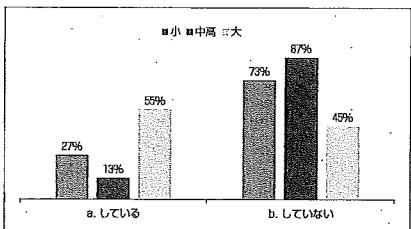
②配布の仕方として当てはまるものは次のうちどれですか？

- ア 個人のレターボックス等に投函
- イ 機や椅子等に置く
- ウ 会合の場で配る
- エ 所定の場所から取ってもらう
- オ その他



その他：（中高校）直接手渡す、（大学）各部署のレターボックスへ、総合窓口で

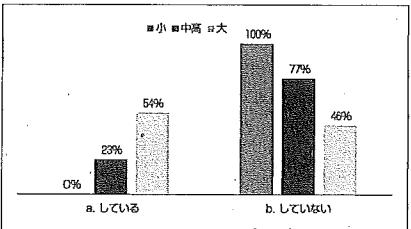
B. 回観



「a. している」とお答えの場合、その範囲・仕方をお書きください。

（小・中高校）非常勤講師に、（中高校）事務室、給食室で、教師会等で、（大学）各部署で、事務職員に、公文書として、事務室内で、次長、局長から学長・理事長・宗教主任に

C. 自由閲覧・縦覧



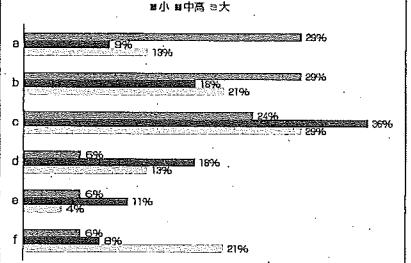
「a. している」とお答えの場合、設置場所・仕方をお書きください。

（中高校）掲示板、図書館、教員の屋食場所、職員控え室、講師席の前に置き待ち扇り自由（大学）掲示板、キリスト教センター・宗教センター・事務室、チャペル・礼拝堂、図書館、講師室、各学部・部課の新聞等を置くラック、事務局・総務部・ラウンジの新聞掛け

③「キリスト教学校教育」紙の読み方についてお聞きします。（印象を含めて結構です。）

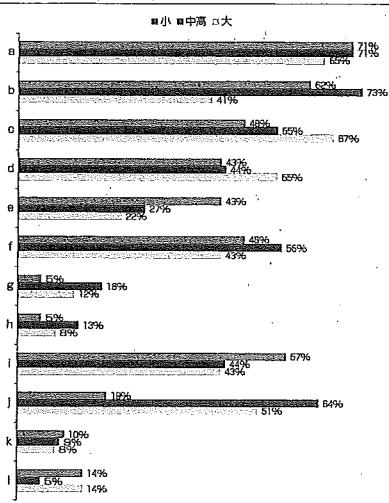
A. 職場の中で「キリスト教学校教育」紙をよく読んでいる方の割合どのくらいだと思いますか？

- a. ほぼ全員
- b. 半分以上
- c. 半分くらい
- d. 半分以下
- e. ごく僅か
- f. わからない



B. 「キリスト教学校教育」紙の記事で読まれていると感じるものは次のうちどれですか？

- a. 卷頭言（主張）
- b. 「聖書のことば」
- c. 加盟校動静
- d. 研修・協議会・総会・委員会・行事等の報告記事
- e. 連載「キリスト教教育者物語」
- f. 連載「キリスト教Q&A」
- g. 「アンケート」（3月号）
- h. 「座談会」等（6月号）
- i. 学校の紹介・報告記事
- j. 公募
- k. 「事務局だより」
- l. 「行事予定」

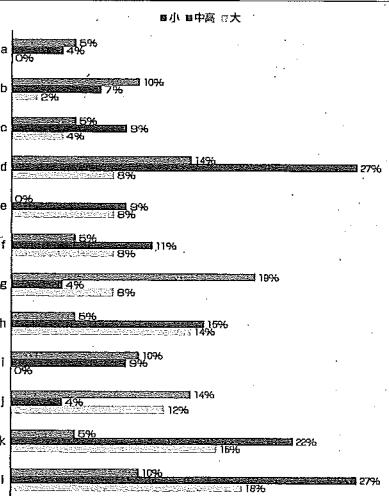


理由、所見があればお書きください。

- （小学校）人によって関心が異なる。
- ・全体に目を通す者が多い。
- （中高校）学校と関係ある記事や執筆者なら読まれる。
- ・他校の状況が分かるような記事には関心をもたれている。
- ・座談会はテーマが興味深く反響が大きい。
- ・各校との連携を感じる。
- （大学）人によって関心が異なる。
- ・すべて一読している。
- ・1面はよく読まれている。

C. 反対に「キリスト教学校教育」紙の記事で読まれてないと感じるものは次のうちどれですか？

- a. 卷頭言（主張）
- b. 「聖書のことば」
- c. 加盟校動静
- d. 研修・協議会・総会・委員会・行事等の報告記事
- e. 連載「キリスト教教育者物語」
- f. 連載「キリスト教Q&A」
- g. 「アンケート」（3月号）
- h. 「座談会」等（6月号）
- i. 学校の紹介・報告記事
- j. 公募
- k. 「事務局だより」
- l. 「行事予定」



理由、所見があればお書きください。

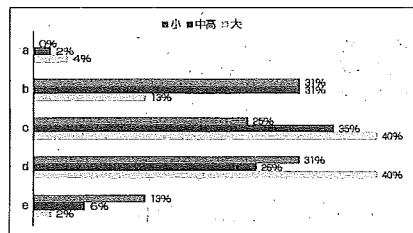
- （中高校）ノンクリスチヤンが多いことの反映。
- ・関心のある人が少ない。
- ・研修会報告記事は内容が見えてこない。
- ・一般教員には不要な情報。
- （大学）読む人はまんべんなく読み、読まない人は公募のみ。
- ・長いものは読まれないが、コピーを取っておく者もいる。

D. 職場の中で「キリスト教学校教育」紙の内容が話題になることはこれまでありましたか？

- a. よくあった
- b. 時々あった
- c. たまにあった
- d. あまりなかった
- e. 全くなかった

（2面につづく）

(3面よりつづく)

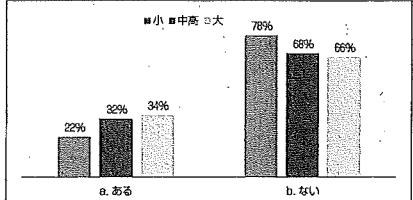


「a～e」を答えた場合は、どのような話題であったかお書きください。

- (小学校)
 ・夏期研修会の報告記事。
 ・道徳の教科化について。
 ・自校の創立者・関係者の記事。
 ・他校との宗教行事の比較。
 ・「キリスト教Q&A」について。
 ・巻頭言や他校の創立者の歴史や労苦に感銘を受けたこと。
 (中高校)
 ・(参加した)研修会の報告記事。
 ・自校の教員や知人が記事を書いていたこと。
 ・アンケートの集計結果。
 ・1面の記事。
 ・同校一覧。
 ・研修会の写真で関係者が写っていた時。
 ・「キリスト教Q&A」に関する。
 ・自校で総会や研修会が行われたときの報告。
 ・加盟校動静や学校紹介。
 ・他校の取り組みが紹介された際。
 ・公募情報。
 ・「聖書のことば」の内容で。
 ・キリスト教学校の今後の使命・課題が掲載された。
 ・座談会の内容。
 ・道徳の教科化。
 (大学)
 ・研修会の報告記事。
 ・教育同盟の一般社団法人認可に際して。
 ・関係学校や知人の話題・記事が掲載された際。
 ・教授会でキリスト教学校の現状を報告した際。
 ・研修会の写真で関係者が写っていた時。
 ・「キリスト教Q&A」で判明したこと。
 ・自校で総会や研修会が行われたときの報告。
 ・加盟校動静や学校紹介。
 ・他校のキリスト教活動が紹介された際。
 ・公募情報。
 ・巻頭言を受けて教職員間で共有する。
 ・「聖書のことば」の内容で。

③「キリスト教学校教育」紙の用いられ方についてお聞きします。(公的、私的を問いません)

- A. 「キリスト教学校教育」紙を個人で読む以外に、何らかの仕方で用いたことはありますか?



「a. ある」と答えた場合は、どのような用い方をなさったのかお答えください。

- (小学校)
 ・聖書のみ言葉の理解を、近隣教会の礼拝説教や保護者会で用いた。
 ・学校通信の題材に使用した。
 ・ホームルームで生徒に内容を紹介した。
 ・職員礼拝等で利用した。
 ・「キリスト教Q&A」を利用して子どもに聖書の説明をした。
 (中高校)
 ・研修会や職員会議の資料として。
 ・ホームルームで生徒に紹介。
 ・卒業生の就職の相談で。
 ・礼拝奨励のアイデアにした。
 ・アンケート集計を参考にした。
 ・「キリスト教Q&A」を切り抜きにして再配布。
 (大学)
 ・教職員のための建学の精神やキリスト教研修会の資料で。
 ・宗教科教育法の授業の教材として。
 ・公募を教員会に伝えた。
 ・朝礼で引用した。
 ・アンケート集計を参考にした。
 ・本紙から得た思いを礼拝等で学生に向けて発信。
 ・講演のデータを資料にした。
 ・加盟校動静でリストの更新をしている。
 ・研修会等の講師候補者の検討。

B. 「キリスト教学校教育」紙を個人で読む以外に、用い方の提案がありましたらお書きください。

- (小学校)
 ・校内掲示板に貼り出す。
 ・PTAに配布できるとよい。
 ・保護者用号があつてもよい。
 (中高校)
 ・研修会や聖書研究会で用いる。
 ・教会にも(有料)配布。
 ・授業、職員会議、礼拝でのアイデア提供。
 ・これからはHPやインターネットをもっと活用すべき。

(大学)

- ・校内掲示板に貼り出す。
- ・研修会に用いる。
- ・教会でも読みほししい。
- ・ダイジェスト版をHPに掲載。

④「キリスト教学校教育」紙の発行の意義として大切だと感じる順に番号(1, 2, 3...)を解答欄にお書きください。

- a. キリスト教学校教育同盟として昨今行われていること、動きを知る。 1 750P
- b. キリスト教学校教育同盟加盟校での現況、取り組み例等を知る。 2 726P
- c. キリスト教やキリスト教学校の基本的事柄を知る。 3 520P
- d. キリスト教学校教育同盟及びその加盟校の歴史から学ぶ。
- e. キリスト教学校教育同盟及びその加盟校の未来像を学ぶ。
- f. 記事を寄せた方、報告した方の思い、意見(主張)を聴く。
- g. キリスト教学校教育同盟として行われた事柄を公的に記録保存する。

その他「発行の意義」として指摘できることがあればお書きください。

- (小学校)
 ・校種を超えた情報共有や同盟各校の諸活動・問題点などの共有をネットワーク構築できる。
 ・キリスト教の理解を深める。
 ・みごとばにより力を得る。
- (中高校)
 ・キリスト教学校としての連帯感を持つ。
 ・求人の公募公告先を関係者に広める。
 ・ノンクリスチヤンの教職員が聖書に触れる機会。
 ・各校の動静の共有化。
 ・キリスト教学校としてのビジョンを持つこと。
- (大学)
 ・キリスト教学校の存在意義を確認する。

⑤「キリスト教学校教育」紙にあったらよい記事・内容・改善点の提案、意見等がありましたらお書きください。

- (小学校)
 ・日本におけるキリスト教の歴史の記事。
 ・地区別の研修会等の報告をもっと掲載してほしい。
 ・クリスチヤンとノンクリスチヤンの交わり方。
- (中高校)
 ・キリスト教学校への大胆な意識改革、今後の生き残り策、キリスト教教育の使命遂行に必要なこと。
 ・より前向きな各校での取り組みや展望、共有すべき具体例の発信等。
 ・参加したくてもできない人のための研修会詳細報告。
 ・聖書科授業の紹介や礼拝、キリスト教行事の紹介。
 ・教育同盟発行の教科書や小冊子の紹介。
 ・礼拝の奨励をノンクリスチヤン教員はどう取り組めば良いか。
 ・建学の精神の継承。
 ・各地区毎の教員や生徒のリレートーク。
 ・教職員の紹介―キリスト教学校に勤める喜びや取り組み、悩み等を自由に書いてもらう。
 ・キリスト教学校での新しい取り組み(ICT教育、国際教育等)の紹介。

- ・各校の修学旅行や研修旅行の取り組みを紹介。
 ・各校の創立者や建学の精神の紹介。

- ・キリスト教関連書籍の紹介。
 ・教会との連携について。

- ・教育のあり方等の発信。

- ・ノンクリスチヤン教職員が興味を持つような記事。
 ・本音で尋ねるキリスト教学校の謎(よく分からないうことを聞いてみる)。

- ・書評や文化的な文章、コラム。
 ・過去の記事を検索できるようになると良い。

- ・統計資料。

- (大学)
 ・いいじめに関して。
 ・学生・生徒の質問に答えるコーナー。

- ・政治・社会問題等への深いある論議・分析。
 ・現行で良いと思う。

- ・文科省や中教審の動きを踏まえた各校の対応。
 ・キリスト教が現代社会でどのように必要か。

- ・学生・生徒の短歌、俳句、作品紹介など。
 ・ノンクリスチヤンがキリスト教学校で教職員として勤めるには。

- ・各校のキリスト教精神の取り組みの紹介。
 ・各校独自の教育システムや部局間の連携について。

- ・盛大の特集。
 ・学生宗教委員会の活動紹介。

⑥連載「キリスト教Q&A」のコーナーで取り上げてほしいQがありましたらお書きください。

- (小学校)
 ・日本の教会で讃美歌がどのように広まったか。
 ・教会暦由来の人物像の紹介。

- ・他宗教との比較。
 ・キリスト教倫理と道徳の違い。

- ・哲学と宗教の違い。
 ・クリスマス、イースター、ペンテコステは毎年紹介してほしい。

- (中高校)
 ・ノンクリスチヤンの素朴な疑問を。

- ・宗教主任やチャプレンにはとても聞けないような内容。
 ・礼拝の形式や歴史。

- ・いわゆる教会用語や讃美歌で使われる特徴的な言葉の意味や解説。

- ・クリスマス、イースター、ペンテコステは毎年紹介してほしい。

介してほしい。

- ・同じテーマが何回出でても良い。
- ・キリスト教のシンボル。
- ・教派の違い。
- ・哲学・法学と神学の関係。
- ・なぜクリスチヤンになったのかを教員に聞くコーナー。
- ・祝賀・三位一体、献金、チャプレン(宗教主事)、聖書の授業がなぜあるのか。
- (大学)
 ・教派の違いをシリーズで。
- ・ノンクリスチヤンの素朴な疑問を。
- ・洗礼について(種類・方法)。
- ・キリスト教関連の学校行事の基本的知識。
- ・日本の習俗や祭儀とキリスト教の関連。
- ・クリスマス、イースター、ペンテコステは毎年紹介してほしい。

⑦加盟校の様々な現況を知り合うことを目的とした「アンケート」で今後取り扱ってほしいテーマがありましたらお書きください。

- (小学校)
 ・平和教育の取り組み。
 ・クリスチヤン教員の比率。
 ・道徳教科化への対応。
 ・(生徒)募集について。
 ・礼拝の持ち方。
 ・性教育について。
 (中高校)
 ・聖書科授業の取り組み。
 ・ボランティア活動・キリスト教活動で特徴的なもの紹介。
 ・加盟校の特色ある教育実践・活動について。
 ・道徳の教科化について。
 ・教員のキリスト教を学ぶためのプログラム紹介。
 ・「公共料」についての各校の動き。
 ・カウンセリングの取り組み。
 ・クリスマスやイースター等キリスト教関係行事の内容。
 ・生徒募集について。
 ・ノンクリスチヤン教員が担うキリスト教教育とは何か。
 ・新人の教育・研修について。
 ・学校礼拝の持ち方や取り組み。
 ・平和教育について。
 ・特別支援教育について。
 ・現場での苦悩と解決方策。
 ・子どもたちの状況(地方および都会)。
 ・改正正選法への対応。
 ・建学の精神とキリスト教の理解。
 (大学)
 ・教育相談についての取り組みや事例。
 ・クリスチヤン教職員の採用について。
 ・チャペルアワーの取り組み。
 ・建学の精神の継承。
 ・平和教育の取り組み。
 ・国歌・国旗への対応。
 ・キリスト教学校であることの活用。
 ・他校との連携。
 ・教会との連携。
 ・建学の精神やキリスト教の研修会の実施。
 ・クリスチヤン教員・職員の比率。
 ・道徳教科化への対応。
 ・学生・生徒募集について。
 ・学生へのキリスト教教育アプローチについて。

⑧毎年3月に実施し6月号で掲載している「座談会」で今後取り扱ってほしいテーマがありましたらお書きください。

- (小学校)
 ・キリスト教学校と平和・戦争について。
 3～5年教員の悩みと展望。
 ・道徳の教科化について。
 ・新学習指導要領について。
 (中高校)
 ・平和教育について。
 ・道徳の教科化について。
 ・適正な学校経営について。
 ・公共科への対応について。
 ・学校礼拝のありかたについて。
 ・クリスチヤン教師が少ない中で授業の転換をどうするか。
 ・若者の教会離れとキリスト教教育。
 ・新指導要領の「自立的(主体的)に協働する力」について。
 ・様々な年代の教師の声。
 ・特別支援教育について。
 ・人権教育について。
 ・いじめについて。
 ・性教育について。
 ・教会との連携について。
 ・事務職員の役割について。
 ・PTA活動。
 ・国家情勢とキリスト教学校の今後のビジョン。
 ・グローバル化とキリスト教学校。
 ・公教育機関としての使命と建学の精神の生きる私学としての固有性。
 ・生徒・教職員・地方学校・都会の学校・教育同盟の今。
 ・キリスト教学校の存在意義。
 ・建学の精神の継承。
 ・チャプレンについて。
 (大学)
 ・平和・人権問題。
 ・教学と経営の関係。
 ・キリスト教人格教育。
 ・道徳教科化への対応。
 ・キリスト教学校の展望。
 ・キリスト教女子大学の意義。
 ・ミッションステートメントの具体化。
 ・各校のクリスマス礼拝の取り組み。
 ・建学の精神の教育のあり方。
 ・国の教育政策・社会的活動とキリスト教活動の関連性。

